



青森県感染症発生情報 (2018年第18週)

I 第18週の発生動向 (2018/4/30~2018/5/6)

1. 感染性胃腸炎については、五所川原保健所管内で**警報**が**解除**されました。
2. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均を上回り、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いています。

II 第18週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															
	18	1.38	47	3.13	14	0.93	22	3.14	44	4.89	12	2.00	157	2.42	-84	
小児科	RSウイルス感染症															
		4	0.50					1	0.20					5	0.12	-4
	咽頭結膜熱															
		6	0.75	1	0.11	3	0.30							10	0.24	-9
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															
		4	0.50	2	0.22	17	1.70	3	0.60	11	1.83	10	2.50	47	1.12	-44
	感染性胃腸炎															
		20	2.50	37	4.11	55	5.50	55	11.00	20	3.33	13	3.25	200	4.76	-220
	水痘															
	1	0.13					1	0.20	1	0.17	6	1.50	9	0.21	-1	
手足口病																
			2	0.22									2	0.05	-12	
伝染性紅斑																
															0	
突発性発しん																
	2	0.25	1	0.11	1	0.10	1	0.20	2	0.33			7	0.17	-14	
ヘルパンギーナ																
															0	
流行性耳下腺炎																
	1	0.13	3	0.33	8	0.80			6	1.00			18	0.43	-2	
眼科	急性出血性結膜炎															
															0	
流行性角結膜炎																
	1	0.50	1	0.33									2	0.18	-1	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															
							2	2.00	1	1.00	2	2.00	5	0.83	-7	
	クラミジア肺炎															
															0	
	細菌性髄膜炎															
														0		
マイコプラズマ肺炎																
			1	1.00									1	0.17	-4	
無菌性髄膜炎																
														0		

は警報、 は注意報。「空欄」：患者報告無し。

感染症の窓

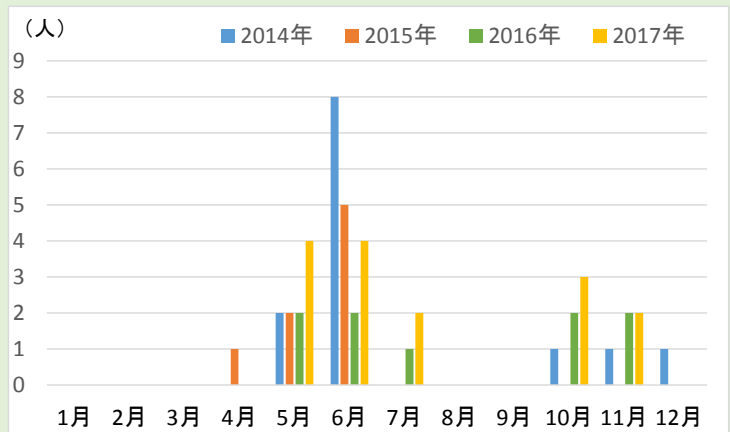
つつが虫病 (四類全数把握対象疾患)

つつが虫病は、病原体(つつが虫病リケッチア)を持ったツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されることにより発症する感染症です。青森県では、例年、春から初夏と秋から初冬に患者が報告されています(図)。

つつが虫の症状は、頭痛、悪寒、39℃以上の発熱などを伴って発症し、皮ふには特徴的なダニの刺し口が見られ、その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになります。**発熱、刺し口、発疹**は本疾患の主要3徴候と呼ばれています。

つつが虫病には有効な治療薬があり、適切な治療で劇的に症状が改善します。しかし、早期に適切な治療が受けられないと重篤化する可能性が高くなります。山林などに立ち入った後2週間以内に、発熱や発疹などの症状が現れた場合には、速やかに医師の診断を受け、野外での活動について詳しく医師に話しましょう。

予防のためには、ダニの吸着を防ぐことが最も重要です。肌の露出を避けるなど服装に注意し、帰宅後は入浴してよく洗い流し、着用していた服はすぐに洗濯することを心がけましょう。



図：青森県における月別つつが虫病患者報告数 (2014年~2017年)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

➡ [ツツガムシ病とは \(国立感染症研究所 HP\)](#)

🔍 ツツガムシ病 国立感染症研究所 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸市1人

（2018年計：59人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第11週～2018年第18週）

・第18週の患者報告数は157人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは156人【A型：107人、B型：49人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	11	12	13	14	15	16	17	18
東地方+青森市	223	172	114	79	77	78	33	18
弘前	188	135	111	94	126	90	60	47
三戸地方+八戸市	252	163	100	43	30	29	17	14
五所川原	71	80	87	91	130	58	36	22
上十三	174	162	110	54	75	114	73	44
むつ	76	58	31	23	20	24	22	12
合計	984	770	553	384	458	393	241	157

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	11	12	13	14	15	16	17	18
東地方+青森市	150	93	72	46	51	65	26	7
弘前	97	63	69	65	102	81	51	43
三戸地方+八戸市	80	42	37	15	13	12	11	6
五所川原	24	27	52	73	103	42	23	19
上十三	56	94	48	22	31	43	27	26
むつ	37	29	14	21	14	20	18	6
合計	444	348	292	242	314	263	156	107

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	11	12	13	14	15	16	17	18
東地方+青森市	73	78	41	33	25	13	7	11
弘前	91	72	42	29	24	9	9	4
三戸地方+八戸市	165	116	61	28	16	16	6	8
五所川原	47	53	35	18	27	16	13	3
上十三	114	67	61	29	43	68	45	18
むつ	36	27	16	2	5	1	4	5
合計	526	413	256	139	140	123	84	49

年齢区分別(人)

年齢区分	11	12	13	14	15	16	17	18
～5ヶ月	1	1	3	2	0	1	1	1
～11ヶ月	8	12	4	9	4	10	2	1
1歳	30	28	19	17	26	25	9	4
2歳	38	25	18	10	21	14	12	7
3歳	38	39	15	16	41	21	5	7
4歳	61	35	21	20	31	21	9	11
5歳	46	34	31	26	35	18	6	2
6歳	58	32	28	16	14	18	13	4
7歳	49	40	27	11	20	16	9	4
8歳	37	26	19	0	9	13	7	4
9歳	53	39	18	10	6	7	5	3
10～14歳	158	115	53	22	36	35	41	20
15～19歳	44	24	16	13	14	23	11	10
20～29歳	35	31	21	26	19	20	7	5
30～39歳	41	54	33	29	34	23	18	17
40～49歳	62	50	48	34	26	22	24	15
50～59歳	64	40	44	27	28	22	18	17
60～69歳	66	66	61	22	30	34	17	11
70～79歳	51	41	32	31	21	13	8	6
80歳以上	44	38	42	43	43	37	19	8

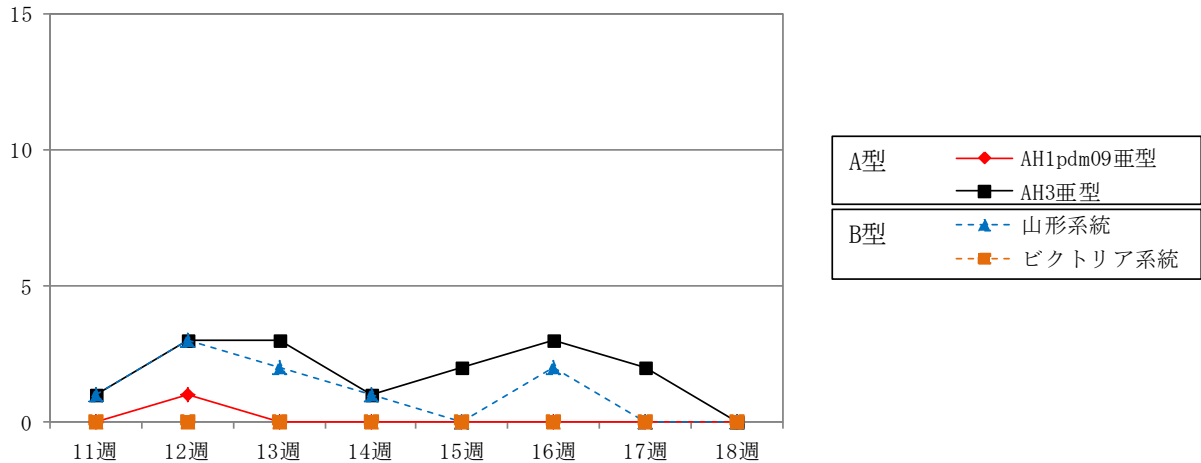
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018							直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計	
		11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週			18週
提出検体数		2	8	5	2	3	6	2	0	13	105
検出 状況	A型										
	AH1pdm09亜型		1							0	14
	AH3亜型	1	3	3	1	2	3	2		8	42
	B型										
	山形系統	1	3	2	1		2			3	35
	ビクトリア系統									0	0
合計		2	7	5	2	2	5	2	0	11	91

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第15週～2018年第18週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
15	H30.4.9 ~ H30.4.15		侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人 百日咳1人			
16	H30.4.16 ~ H30.4.22			百日咳1人			
17	H30.4.23 ~ H30.4.29			梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		
18	H30.4.30 ~ H30.5.6						

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第15週～2018年第18週）

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
15	H30.4.9 ~ H30.4.15		1	2		2	
16	H30.4.16 ~ H30.4.22	1	1	1	1		1
17	H30.4.23 ~ H30.4.29		1		1		1
18	H30.4.30 ~ H30.5.6	1		1			

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第17週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	6619	2	58	251	15	8	124	221	3	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	1	6	1	49	33	17	1	2	13	314

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	251	50	511	279	6	62	275	380	27	153

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	15	1322	116	1916	53	21	15	1138	12	102

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	5

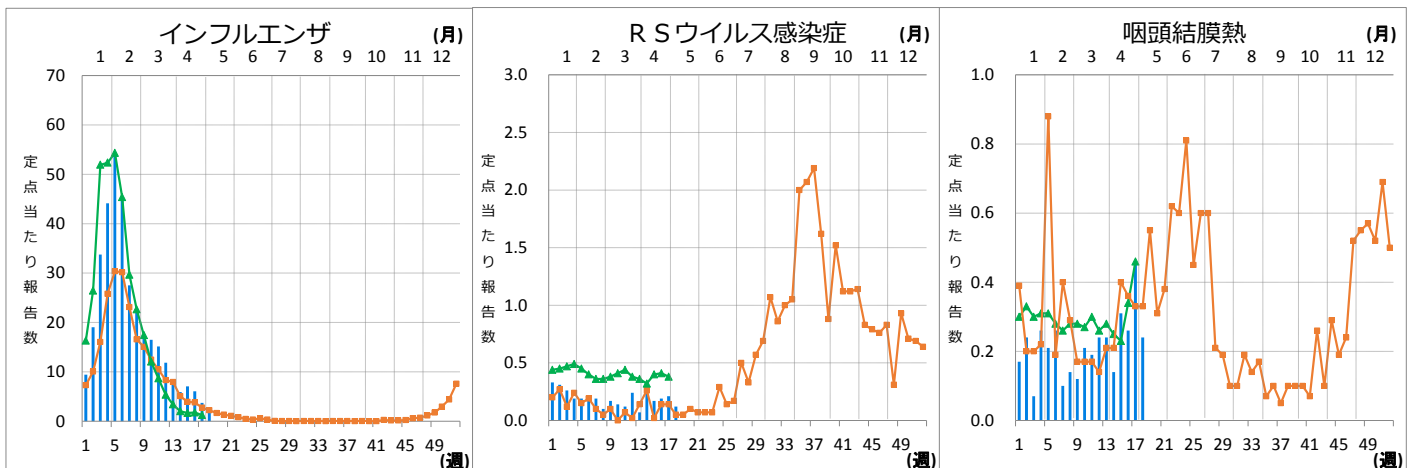
青森県（2018年第1週～2018年第18週までの累計）

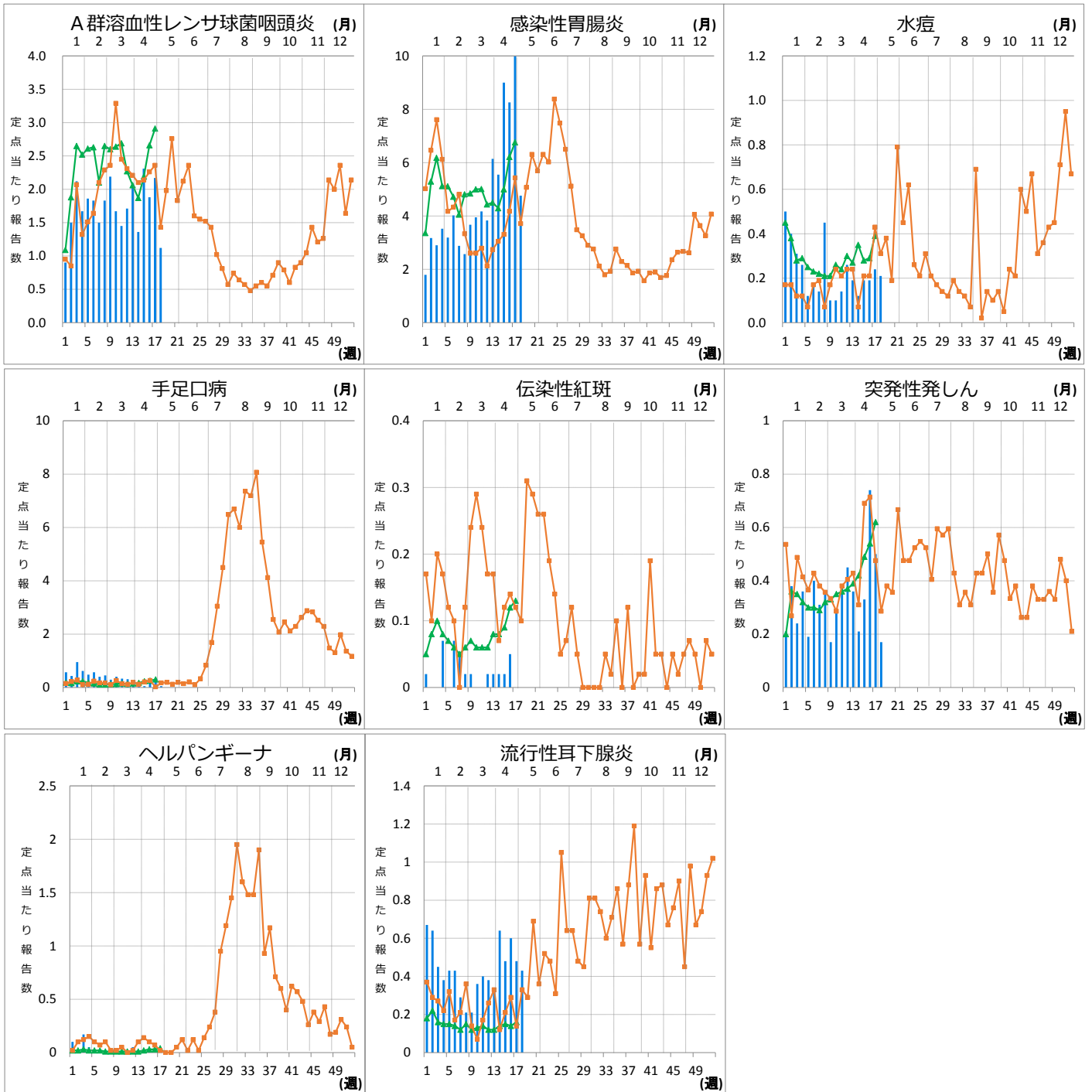
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	59	3	2	1	2	1	8	1	2	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	2	5	1	15	2	14

Ⅸ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第18週、ただし全国は前週）

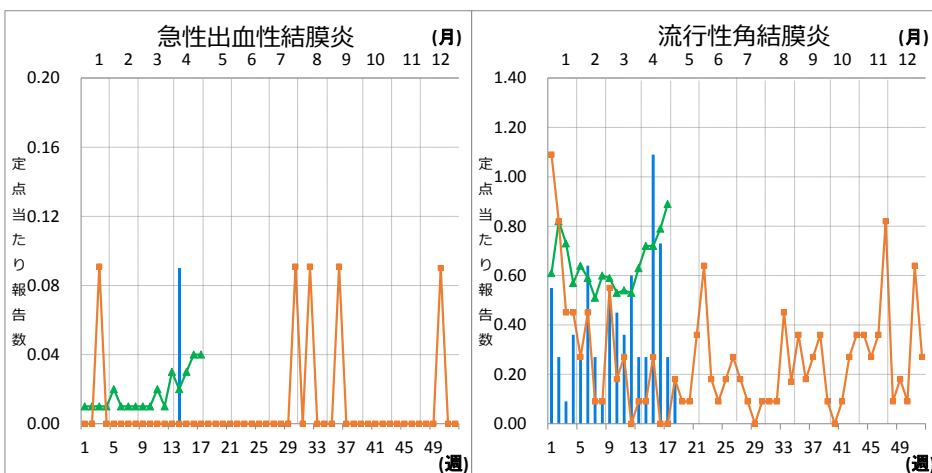
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





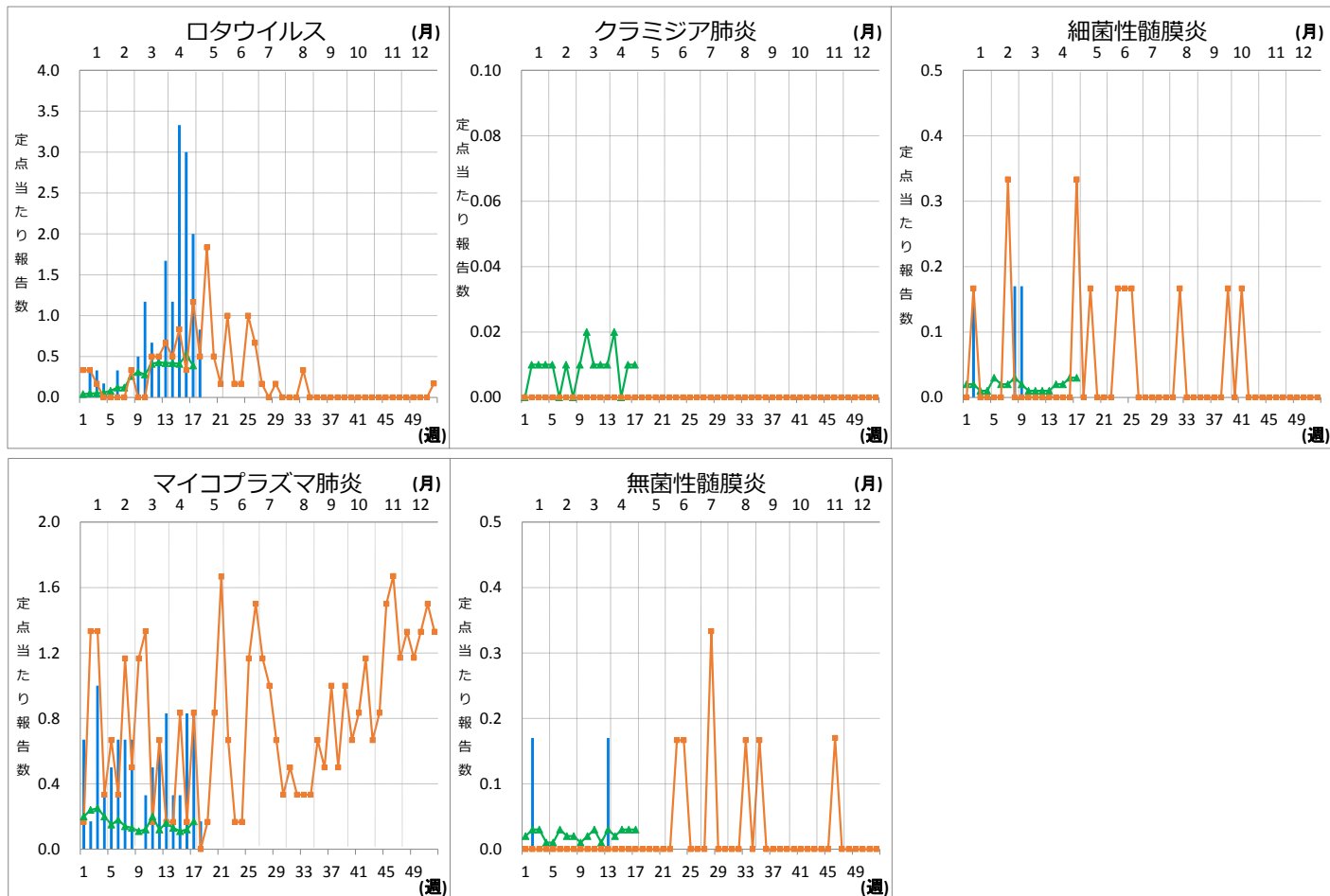
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第18週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■— は 2018年青森県、 ■——■ は 2017年青森県、 ▲——▲ は 2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第18週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第18週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	0	4
	発症者数	0	0	0	56	0	56
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	0	10
	発症者数	56	15	36	56	0	163